

会 場 801会議室
時 間 午後2時00分～

市長記者会見資料

- 1 令和4年度（2022年度）予算（案）の概要
- 2 2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指します！
～ゼロカーボンシティを宣言～
- 3 新保健所が8月に開設
～健康危機管理体制の強化と健康政策拡充に向けて組織改正～
- 4 MICEの推進・ものづくりイベントの開催
～東京たま未来メッセのオープンに合わせた地域活性化事業～
- 5 子育て世代への支援強化と教育環境の整備
～放課後の子どもたちの居場所づくりや通学路の安全対策など～
- 6 地域が主体となって課題解決をする 安心して暮らせるまちへ
～地域づくりの推進と災害対策の強化～
- 7 新型コロナウイルス感染症
 - (1) 本市の感染状況
 - (2) ワクチン接種（追加・小児）促進の取り組み

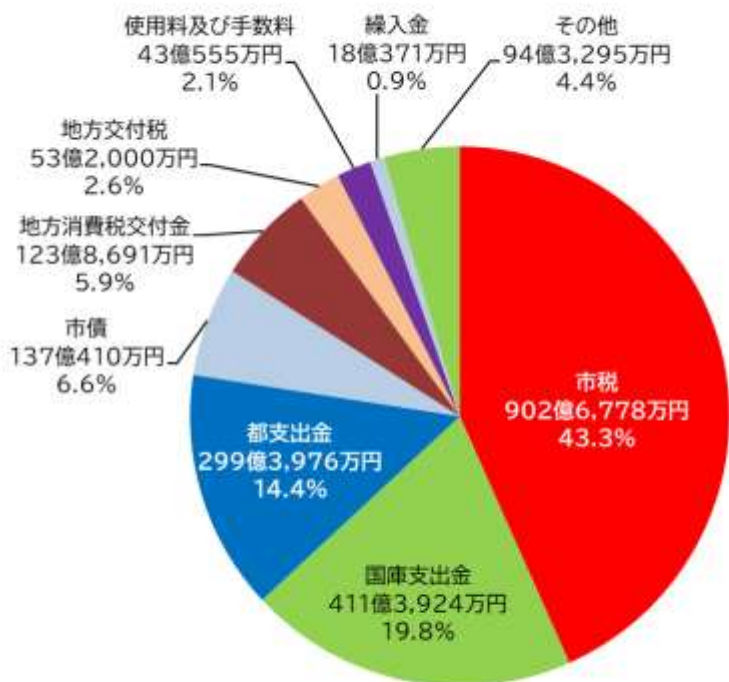
令和4年度（2022年度）予算（案）の概要

1 予算規模（予算説明資料P1）

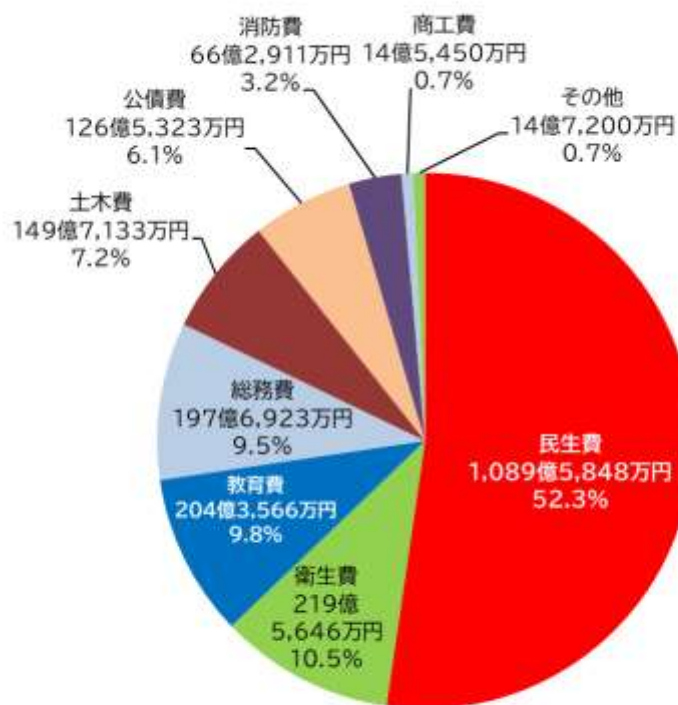
一般会計予算規模 2,083億円（2,209億円 △5.7%）

（ ）は前年度当初予算額 増減率

歳入2,083億円
(2,209億円)



歳出2,083億円
(2,209億円)



予算総額 4,192億円（4,400億円 △4.7%）

区分	令和4年度 (2022年度)	令和3年度 (2021年度)	前年度比	増減率
一般会計	2,083億円	2,209億円	△126億円	△5.7%
特別会計	1,886億6,918万円	1,968億20万円	△81億3,102万円	△4.1%
公営企業会計	222億7,132万円	222億5,830万円	1,302万円	0.1%
合計	4,192億4,050万円	4,399億5,850万円	△207億1,800万円	△4.7%

2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指します！

～ゼロカーボンシティを宣言～

本市は、本日「ゼロカーボンシティ」を宣言します。2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ（カーボンニュートラル）を目指し、市民・事業者・行政の「オール八王子」で脱炭素社会の実現に向けて、全力で取り組んでいきます。

<ゼロカーボンシティとは>

環境省により、「2050年に二酸化炭素を実質ゼロにすることを旨とする地方自治体」を「ゼロカーボンシティ」と定義している

1 宣言内容

別紙「宣言書」のとおり

2 カーボンニュートラルへの取り組み

- (1) 「八王子市地球温暖化対策地域推進計画」を二酸化炭素排出実質ゼロの実現に向けた取組が強化できるような内容に改定
- (2) 省エネ・再エネによるエネルギー削減の取組、ZEV[※]化の促進、普及啓発の取組等を強化した体系的な事業展開の実施
- (3) 民間事業者とともに脱炭素に向けたまちづくりの推進を図る
 - 川口土地区画整理事業で環境配慮型の次世代産業拠点整備に取り組む
 - 東京電力パワーグリッド株式会社と「ゼロカーボンシティ実現に向けた共創に関する連携協定」を締結

※<ZEV(ゼロエミッション・ビークル)とは>

走行時に二酸化炭素等の排出ガスを出さない電気自動車（EV）や燃料電池自動車（FCV）のこと

3 令和4年度予算の主な取り組み

(1) 地球温暖化対策地域推進計画の改定

2050年二酸化炭素排出実質ゼロの実現に向けた取組を強化した内容とするため、地球温暖化対策地域推進計画を改定します。

新年度予算額 12,628千円

(2) 再生可能エネルギーの普及

太陽光発電システム等の再生可能エネルギー普及に資する取り組みを行う市民及び事業者に対し費用の一部を補助します。

新年度予算額 39,293千円

(3) 電気自動車の購入及び充電設備の設置

公用車運行時の脱炭素化を推進するため、車両の更新に合わせ、電気自動車を18台導入します。併せて、充電設備についても整備します。

新年度予算額 91,997千円

4 その他環境に配慮した取り組み

(1) 新館清掃工場

現在、建設を進めている新館清掃工場は、令和4年10月より稼働します。



《施設の特徴》

- 廃棄物発電による余剰電力の売電と自己託送による地産地消の実施
- 施設内に見学スペース・啓発コーナーの設置
- 屋外にビオトープや散策路を整備

2月補正予算額 3,196,376千円

新年度予算額 247,023千円

(2) 生物多様性地域戦略策定

生物多様性の保全とその持続可能な利用に関する方策を示し、市民・事業者・行政が一体となって取り組みを促進するため、生物多様性地域戦略の策定に着手します。

新年度予算額 6,451千円

<生物多様性地域戦略とは>

さまざまな生物から生み出される自然の恵みを支えていくために、生物の多様性の保全に関する計画となるもの

<問い合わせ>

環境部環境政策課長兼ゼロカーボン推進担当課長

中野 電話042-620-7384

2 「川口土地区画整備事業」について 拠点整備部都市整備課長

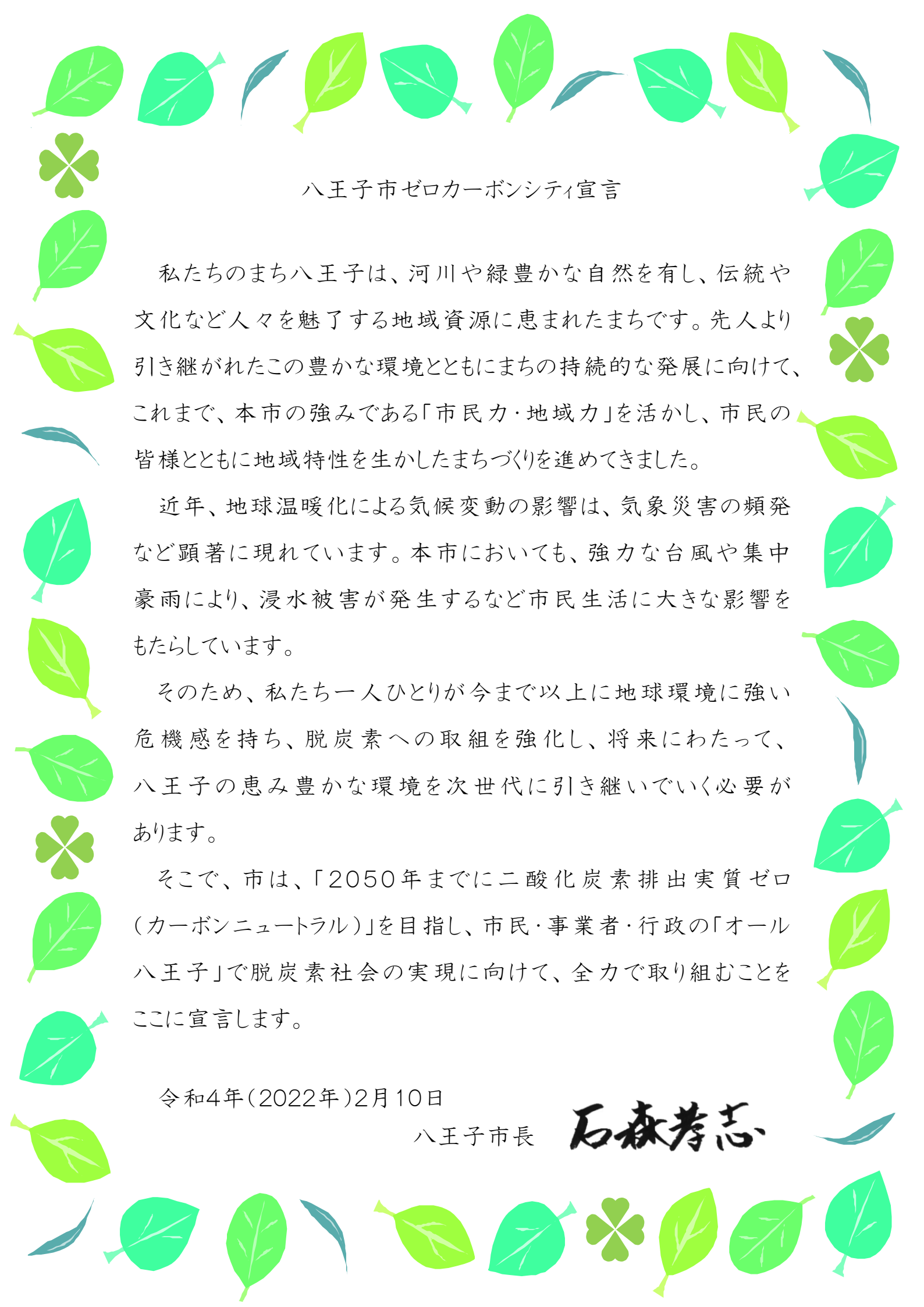
清水 電話042-620-7304

3 「電気自動車の購入及び充電設備の設置」について 契約資産部庁舎管理課長

小池 電話042-620-7211

4 「新館清掃工場」について 資源循環部清掃施設整備課長

堂本 電話042-620-7461



八王子市ゼロカーボンシティ宣言

私たちのまち八王子は、河川や緑豊かな自然を有し、伝統や文化など人々を魅了する地域資源に恵まれたまちです。先人より引き継がれたこの豊かな環境とともにまちの持続的な発展に向けて、これまで、本市の強みである「市民力・地域力」を活かし、市民の皆様とともに地域特性を生かしたまちづくりを進めてきました。

近年、地球温暖化による気候変動の影響は、気象災害の頻発など顕著に現れています。本市においても、強力な台風や集中豪雨により、浸水被害が発生するなど市民生活に大きな影響をもたらしています。

そのため、私たち一人ひとりが今まで以上に地球環境に強い危機感を持ち、脱炭素への取組を強化し、将来にわたって、八王子の恵み豊かな環境を次世代に引き継いでいく必要があります。

そこで、市は、「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ（カーボンニュートラル）」を目指し、市民・事業者・行政の「オール八王子」で脱炭素社会の実現に向けて、全力で取り組むことをここに宣言します。

令和4年(2022年)2月10日

八王子市長

石森孝志

新保健所が8月に開設

～健康危機管理体制の強化と健康施策拡充に向けて組織改正～

現在の保健所は、平成19年4月に本市が保健所政令市となった際に、東京都から譲り受けた施設であり、築約50年が経過して老朽化が進んでいます。また、保健所で取り扱う業務が年々増加し、執務スペースも手狭になっています。そこで、東京都立産業交流センター「東京たま未来メッセ」（10月開業）及び東京都八王子合同庁舎との複合施設へ保健所を移転します。

また、コロナ禍で課題となった新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた、健康危機管理体制を構築するため、医療保険部及び健康部を統合します。

1 新保健所の開設

（1）現保健所との機能比較

	新保健所	現保健所
床面積等	4、5階の2フロア 計3,982㎡	3階建（本館・別館・倉庫） 計2,003㎡
相談室	個別相談室 11室 カウンターに簡易な相談スペースを設置	個別相談室 3室
バリアフリー対応	点字ブロック エレベーター（2基） 難聴者補聴システム トイレ内音声案内システム 障害者や高齢者が使いやすいユニバーサルデザインを採用	点字ブロック エレベーター（1基）
会議室等	新型コロナウイルスなど新たな感染症の発生時において、迅速に健康危機管理に対応するためのスペースを設置	

（2）開設時期 令和4年（2022年）8月1日

新年度予算額 206,025千円

2 市民の健康を守るための組織改正

(1) 4月の組織改正

市民の生命と健康に関わる健康被害を未然に防ぎ、健康危機に対応するため、健康危機管理を所掌する「(仮称)健康危機管理担当課長」を配置する。

(2) 8月の組織改正

これまでのコロナ禍における課題等を踏まえ、8月の新保健所の開設に合わせて、健康危機管理の強化を図るため、医療保険部と健康部を統合し「(仮称)健康医療部」を設置する。両部の統合に伴い、「(仮称)保健所担当部長」を配置し、地域医療政策課及び健康政策課の名称を「(仮称)健康医療政策課」及び「(仮称)保健総務課」に変更する。

現在 (改正前)	令和4年4月 (改正後)	令和4年8月 (改正後)
医療保険部	医療保険部	健康医療部
地域医療政策課	地域医療政策課	健康医療政策課
		(健康危機管理担当課長)
健康部 ※	健康部 ※	(保健所担当部長) ※
健康政策課 ※	健康政策課 ※	保健総務課 ※
(健康増進担当課長) ※	(健康危機管理担当課長) ※	

※ 八王子市保健所

MICE の推進・ものづくりイベントの開催

～東京たま未来メッセのオープンに合わせた地域活性化事業～

令和4年10月に、明神町に東京都が建設中の多摩地域最大級の展示場「東京たま未来メッセ」が開業します。

この機会に、本市のさらなるMICEの推進と、ものづくりをはじめとする産業の振興を図るとともに、都内で唯一となる日本遺産の認定を受けた歴史文化の魅力を、市内外へ発信するための取り組みを実施します。

1 MICEの推進

(1) MICE開催支援・推進活動

本市の魅力ある資源を活用したMICE推進を図るため、開催支援費やオンライン配信を行うための費用の補助を拡充します。

また、MICE誘致の際に他市との差別化を図るため、歴史的建造物等で特別感や地域特性を演出できる「ユニークベニュー」を紹介する冊子を新たに作成します。

新年度予算額 53,089千円

■開催支援補助金の拡充

市内で学会や展示会などを開催する場合に主催者へ支給する開催支援補助金を拡充する。

従来は最大25万円であったところ、宿泊人数など、複数の要件により最大500万円を支給する。

従来

25万円

令和4年度～

開催に伴う
市内宿泊人数等
に応じて
最大500万円

■ユニークベニュー 冊子作成

MICE推進のプロモーションツールとして、市内の公園・美術館・大学など、公共施設だけでなく民間施設も含め、施設の規模や間取りなどを写真等で分かりやすく伝え、MICE主催者に活用イメージを持っていただくための冊子を作成する。

<ユニークベニューとは>

コンベンション施設などの専用施設ではなく、歴史的建造物や文化施設などで会議・イベントを開催することで特別感や地域特性を演出できる会場

(2) MICE推進のための民間人材の活用

MICEの誘致活動、活動方針の作成、アフターコンベンション等の企画立案機能を強化するため、イベント誘致に関するノウハウや経験を持つ民間人材を「MICEプランナー」として活用します。

新年度予算額 4,982千円

2 ものづくり系イベントの開催

令和4年10月14日にオープンする東京都立多摩産業交流センター「東京たま未来メッセ」において、本市の特色であるものづくりをはじめとした産業の振興及びイノベーション創出のため、中小事業者の新分野展開につなげるイベントを開催します。本イベントについては、幅広く情報発信し、より多くの交流を図っていく予定です。

- (1) 開催日程 11月11・12日(予定)
(2) テーマ 脱炭素や防災、高齢化などの「社会課題の解決」をテーマとして、市内事業者等による取り組みをPRするとともに、ワークショップ等を通じて、企業間の交流促進や新分野展開へのきっかけの創出を図る。

新年度予算額 36,962千円

3 日本遺産サミット開催に向けた機運醸成

八王子市は、令和5年度の「日本遺産サミット」の開催候補地となっています。市民の皆さんに本市の歴史・文化の魅力に親しんでいただき、日本遺産推進協議会を通じて、開催に向けた機運醸成を図るための事業を実施します。

<実施予定の主な事業>

- 日本遺産企画展の開催
- 認定ストーリー体験オープンファクトリー・ワークショップの開催
- 構成文化財の調査研究 など

新年度予算額 17,650千円

4 日本遺産を活用した観光推進

日本遺産を活用して観光客を呼び込み、地域経済の活性化につなげるため、「高尾山薬王院でのライトアップイベント(8月)」など、日本遺産の構成文化財をテーマとしたイベントを開催します。

新年度予算額 45,000千円

<問い合わせ>

- 1について 産業振興部 MICE 推進担当課長 立川 電話042-620-7252
2について 産業振興部企業支援課長 南部 電話042-620-7379
3について 都市戦略部日本遺産推進担当課長 平塚 電話042-620-7434
4について 産業振興部観光課長 白石 電話042-620-7378

子育て世代への支援強化と教育環境の整備

～放課後の子どもたちの居場所づくりや通学路の安全対策など～

子どもを安心して生み育てられるまちを目指し、子どもとその家族への支援の強化と教育環境の整備を進めます。

1 医療的ケア児等コーディネーターの配置

医療的ケア児等とその家族が、保健・医療・福祉その他関連分野の連携したサポートを受け、心身の状況とその成長に応じた適切な支援につなげるための調整をする「医療的ケア児等コーディネーター」を市内事業所への業務委託により配置します。

新年度予算額 4,000千円

<医療的ケア児等とは>

人工呼吸器を装着している障害児等、その他の日常生活を営むために、医療的なケアが必要な状態にある障害児のこと。

2 おたふく風邪ワクチン接種を無償化

接種率の向上と子育て世帯の負担軽減のため、おたふくかぜワクチンの接種に係る自己負担額3,000円を無償化します。26市初の取り組みです。

■対象者 1歳及び小学校就学前1年間の方（2回接種する）

■対象者数 約6,700人

新年度予算額 49,651千円

3 通学路合同点検に基づく安全対策【2月補正予算】

昨年実施した、通学路合同点検の結果に基づき、防護柵や路面標示の設置、カラー舗装などの安全対策を実施します。

■路側線・路面標示のカラー舗装等 86か所

■防護柵等の設置・建替え 13か所

■道路補修工事 2か所

補正予算額 79,357千円

4 子どもの生活実態調査

学齢期の子どもがいる家庭の経済状況及び子どもと保護者の生活実態や困りごと等を具体的に把握し、子どもと子育て家庭に係る施策の参考とするため、実態調査を実施します。

■対象者 市立小学校5年生・中学校2年生 及びその保護者

■調査方法 小・中学校で調査票を配布・回収し、学術機関で分析

新年度予算額 11,897千円

5 学童保育所・放課後子ども教室による子どもたちへの居場所づくり

(1) 学童保育所・放課後子ども教室一体型居場所づくり

学童保育所と放課後子ども教室がお互いの特性を活かしながら連携することで、全ての児童が様々な活動を体験できる居場所づくりを進めるため、「連携推進員」を配置するほか、民間事業者を活用した様々なスポーツプログラムを提供します。

■ 実施予定のスポーツプログラム 野球、サッカー など

新年度予算額

連携推進員人件費	33,418千円
スポーツプログラム実施委託料	3,234千円

<連携推進員とは>

学童保育所と放課後子ども教室の間の連絡・調整にあたるほか、多様な活動プログラムの企画・提供を行う。

(2) 学童保育所へのWi-Fi環境の導入

国が推進するGIGAスクール構想に基づき、令和3年3月までに、全市立小学校において1人1台の学習用タブレット端末を配備したことで、今後ICTを活用した家庭学習（宿題など）を実施する予定です。

学童保育所においてもWi-Fi環境を整備することで、家庭学習に対応できる環境を整えます。

新年度予算額 4,515千円

6 給食センターの整備

全ての中学生に温かい給食を提供するとともに、食育を推進するため、引き続き給食センターを整備します。令和4年度は、現在着工中で4施設目となる櫛原の施設の建設工事を進めるとともに、5施設目となる寺田の施設の建設工事に着手します。

新年度予算額 918,573千円

<問い合わせ>

- 1について 福祉部障害者福祉課長 遠藤 電話042-620-7245
- 2について 健康部健康政策課長 渡邊 電話042-645-5102
- 3について 学校教育部地域教育推進課長 高橋 電話042-620-7403
- 4について 子ども家庭部子どものしあわせ課長 松本 電話042-620-7391
- 5について 生涯学習スポーツ部放課後児童支援課長 倉田
電話042-620-7246
- 6について 学校教育部学校給食課長 田倉 電話042-620-7483

地域が主体となって課題解決をする 安心して暮らせるまちへ ～地域づくりの推進と災害対策の強化～

本市では、中学校区を単位に地域の課題解決などに向けて、協働していく仕組みを構築する「地域づくり」に取り組んでいます。

また、複雑化した地域課題・生活課題を解決するため、関係機関と連携しながら相談者への支援を行う「八王子まるごとサポートセンター」を新たに2施設開設します。

この他にも、首都直下型地震や異常気象などによる災害への備えが重要となるなか、自力避難が困難な方への支援や、消防団の処遇改善のための取り組みを進めてまいります。

1 地域づくりの推進

モデル地区の中学校区（長房・川口）では、「地域づくり推進会議」において、令和4年3月に地域の行動指針となる「地域別推進計画」を策定し、令和4年4月からこの計画に基づく具体的な取り組みを実施します。

また、新たに「地域づくり推進会議」を設置した中学校区（みなみ野・南大沢）においても、「地域別推進計画」の策定に着手するほか、その他の33地区においても、「地域づくり推進会議」に移行するため、地域住民や活動団体等が情報共有や意見交換を行う「地域づくり準備会」を開催します。

新年度予算額 27,794千円

<地域づくり推進会議とは>

地域づくりの推進に向けて、町会・自治会をはじめ、住民協議会や学校運営協議会、民生委員児童委員協議会など、地域づくりにかかわる活動団体や市民などとともに地域の現状などを把握し、地域課題の解決手法などを検討する会議

<スケジュール>

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)以降
モデル地区(長房・川口) 地域別推進計画に基づく 取り組み等		地域づくり推進会議 地域別推進計画 策定 → 計画に基づく取り組み	
2地区(みなみ野・南大沢) 地域別推進計画策定等	地域づくり準備会等	地域カルテ作成 → 地域別推進計画 策定	計画に基づく 取り組み
その他地区(33地区) 地域づくり推進会議の 立ち上げ等支援		移行	地域の実情に応じて 地域づくり推進会議を設置

2 八王子まるごとサポートセンターによる重層的支援体制の整備

地域住民の複雑化した困りごとに対応するため、専門の職員を配置した「八王子まるごとサポートセンター」を中心に、各機関と連携して一体的に支援します。

令和4年度は、元八王子事務所と館事務所内に同センターを新たに開設し、全12か所となり、相談支援体制を一層強化します。

新年度予算額 181,082千円

<「八王子まるごとサポートセンター（愛称「はちまるサポート」）とは>

令和3年4月に施行された「地域共生社会の実現のための社会福祉法等の一部を改正する法律」に基づき実施している「重層的支援体制整備事業」の核を担う地域福祉推進拠点及びその新たな名称（令和3年10月1日から）

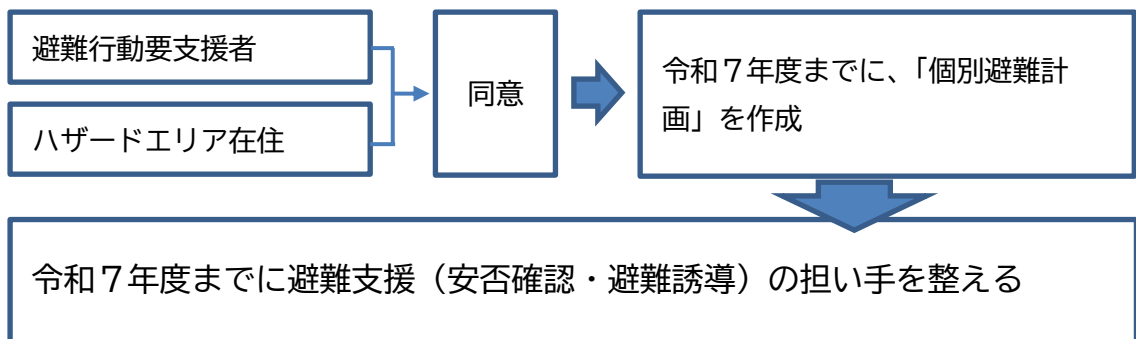
3 自力避難が困難な方への支援

令和3年の災害対策基本法の改正に基づいて、災害時に自力避難が困難な「避難行動要支援者」のために、「個別避難計画」の作成を進めます。

新年度予算額

システム構築等業務委託料 25,670千円

個別避難計画作成管理業務委託料 24,326千円



「避難行動要支援者」とは

- ① 要介護3以上の認定を受けており、施設入所していない者
- ② 次のいずれかに該当する障害者手帳所持者で、施設入所していない者
■自力避難が困難な者 ■避難情報の入手が困難な者 ■避難の判断が困難な者
- ③ 75歳以上の一人暮らし高齢者で、自力避難が困難かつ同意をする者
- ④ 75歳以上のみの世帯で、自力避難が困難かつ同意をする者
- ⑤ その他、特に災害時に支援が必要と市長が認める者

「個別避難計画対象者」とは

- ・ 左記の「避難行動要支援者」に該当
- ・ ハザードエリア（浸水想定地域・土砂災害警戒区域等）に住む者
- ・ 同意する者

4 消防団運営のための処遇改善

次の通り消防団員の処遇改善のための経費を計上しました。

(1) 夏用活動服の配備

これまでは、災害現場での怪我などを防止するため、通年で厚手の活動服を着用して消防団活動に従事していました。近年の夏場の酷暑に対応するため、夏用活動服を新たに配備します。

新年度予算額 22,176千円

(2) 研修用タブレット端末の配備

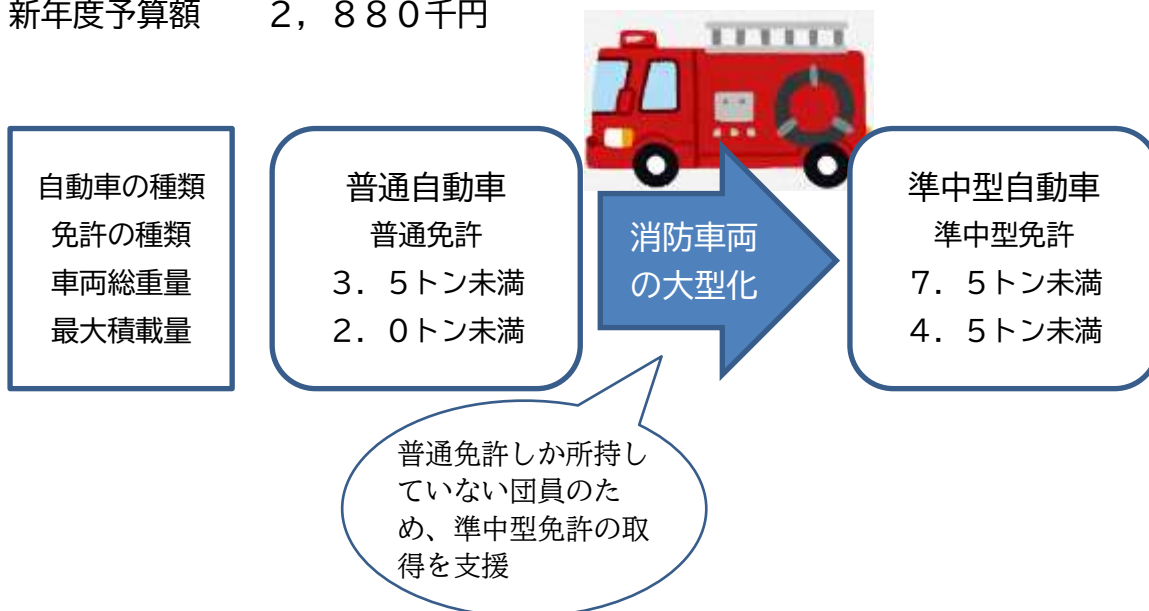
消防団の各種訓練や研修について、動画データなどを元にしたオンライン研修が増加しています。これまでは団員個人が所有するパソコンなどを使って訓練・研修を実施していましたが、新たに消防団器具置場毎にタブレット端末とWi-Fi機器を配備し、オンラインでの訓練・研修が着実に実施できる環境を整えます。

新年度予算額 19,676千円

(3) 準中型免許取得費補助金

消防団で使用する消防車両の大型化に対応し、団員が準中型自動車を運転するために必要な「準中型免許」を取得するための費用を補助するための経費を計上します。(教習費 約24万円のうち、2分の1を補助)

新年度予算額 2,880千円



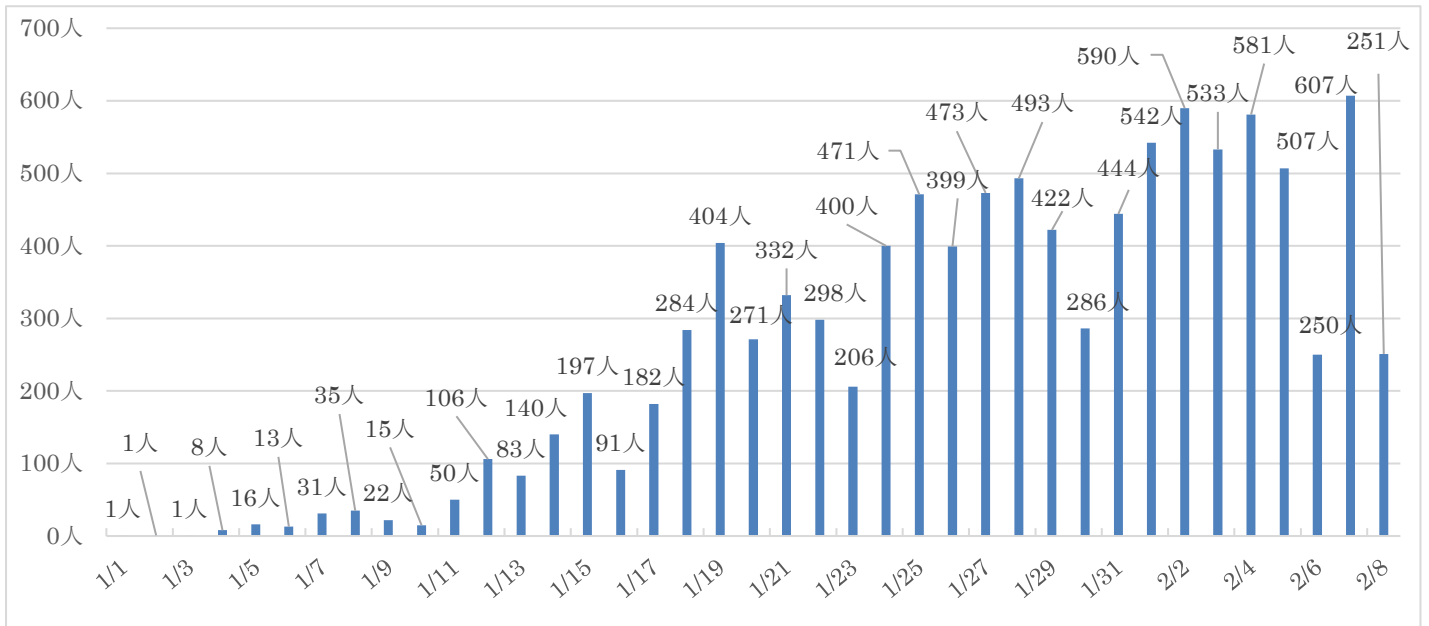
<問い合わせ>

1について	未来デザイン室主幹	野田	電話042-620-7307
2・3について	福祉部福祉政策課長	平井	電話042-620-7240
4について	生活安全部防災課長	菅野	電話042-620-7207

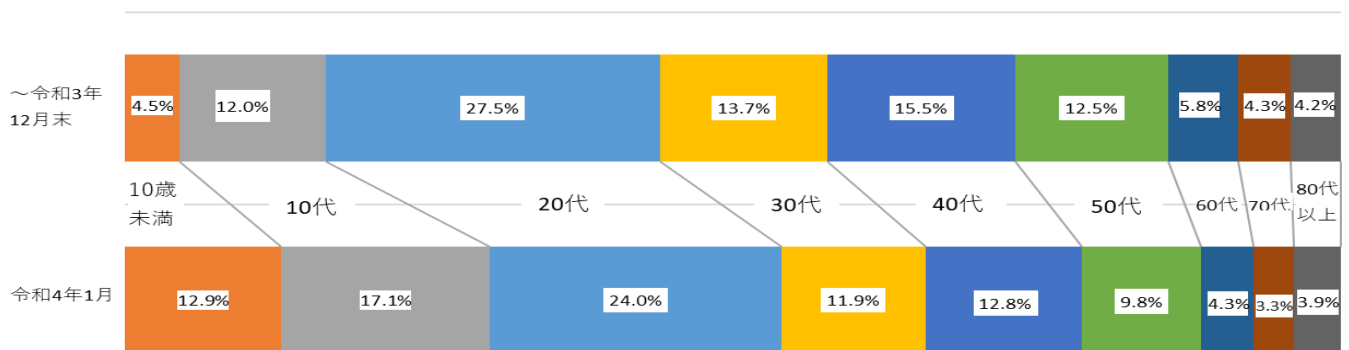
新型コロナウイルス感染症 本市の感染状況

1 感染者の状況

(1) 新規陽性者数の推移（1月1日～2月8日）（2月8日現在）



(2) 新規感染者年代別割合推移（1月1日～1月31日）



2 地域医療体制支援拠点の活動状況（2月7日現在）

- 入院調整件数 69件
- 受診調整件数 105件

<問い合わせ>

(1について) 健康部保健対策課長 福島 電話042-645-5195

(2について) 医療保険部地域医療体制整備担当課長 菅野

電話042-620-7473

新型コロナウイルス感染症 ワクチン接種(追加・小児)促進の取り組み

1 医療従事者接種

(1) 36病院及び3師会^{※1}会場での接種状況(2月5日時点)

ア 接種者数 10,972人(36病院:9,957人、3師会:1,015人)

イ 使用ワクチン

ファイザー 5,664人(36病院での接種のみ)^{※2}

武田/モデルナ 5,308人(36病院:4,293人、3師会:1,015人^{※3})

※1 八王子市医師会、八王子薬剤師会、八南歯科医師会

※2 病院接種開始時は、「武田/モデルナ」ワクチンが未承認であった。

※3 3師会の会員で今後接種する約1,500人は、全て武田/モデルナの予定。

(2) アンケート(追加接種の副反応に関するアンケート)

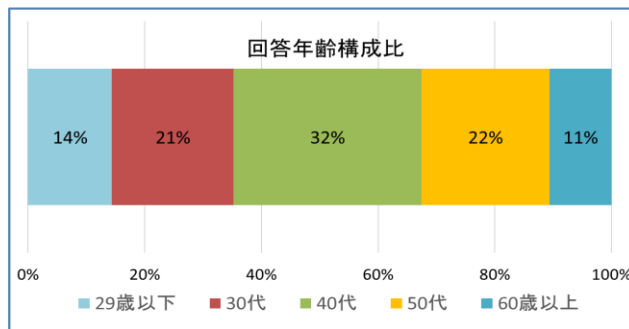
ア 対象数 約12,400人(今後接種予定の約1,500人を含む)
集計時点(10,972人)

イ 実施時期 2月3日~28日

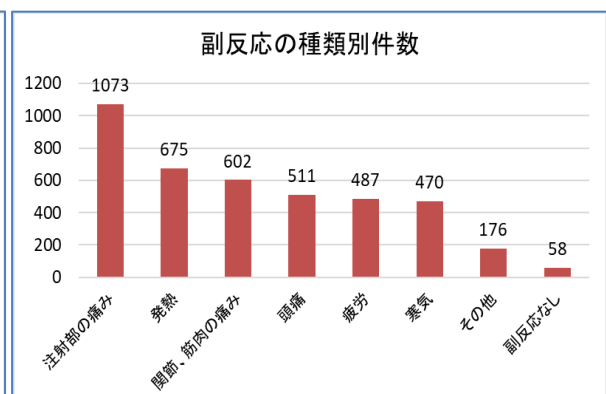
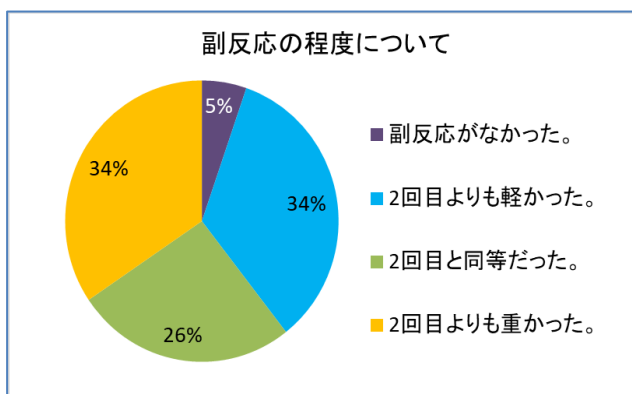
ウ 回答総数 1,326件(回答率12.1%) ※2月5日時点

ワクチンの種類 ファイザー721件(54.4%)、武田/モデルナ605件(45.6%)

エ 年齢構成比



オ 副反応発生状況



2 追加接種の前倒し

(1) ワクチンの供給状況

接種券到着予定	2回目接種終了月	3回目接種開始月	対象者数(人)【令和4年2月1日現在】			ワクチン供給量	
			65歳以上 (6か月間隔)	64歳以下 (7か月間隔)	合計	供給スケジュール	ファイザー + 武田/モデルナ 計
発送済	～令和3年7月	～令和4年2月	13.9万人	4.2万人	(ア) 18.1万人	1月末時点累計	(イ) 21.0万回分
2月24日	令和3年8月	令和4年2月	うち60歳以上 1.9万人 うち妊婦 0.2万人	8.4万人	(ウ) 8.5万人	2月末時点累計	(エ) 32.8万回分
	令和3年9月	令和4年3月	0.1万人			3月末時点累計	45.1万回分
2月28日	令和3年9月	令和4年3月	うち40歳以上 5.4万人	8.7万人	8.8万人	1月末時点でのワクチン余裕量 (イ)-(ア)= 2.9万回分	
	令和3年10月	令和4年4月	0.1万人			↓ 60歳以上及び妊婦の2.1万人を 接種間隔6か月に前倒し	
3月10日	令和3年10月	令和4年5月		4.8万人	4.9万人	2月末時点でのワクチン余裕量 (エ)-(ア+ウ)= 6.2万回分	
	令和3年11月	令和4年5月	0.1万人			↓ 40歳以上の5.4万人を 接種間隔6か月に前倒し	
毎月中旬	令和3年12月以降	令和4年6月以降	0.1万人	1.5万人	1.6万人		
対象者数 計			14.3万人	27.6万人	41.9万人		

(2) 接種間隔の前倒し

対象者	接種間隔(2回目接種完了後)		予約変更開始日
	変更後	現在	
(1) 妊婦の方 ※	6か月以上	7か月以上	令和4年2月8日
(2) 60～64歳の方			令和4年2月15日
(3) 40～59歳の方			令和4年3月1日

※ 接種日時 2月16日(水)から当面の間
毎週水曜日・木曜日(祝日は除く) 13時～20時30分
会 場 八王子オーパ 6階
予約方法 保健福祉センター3館で圏域ごとに電話で受付

(3) 接種会場の追加

株式会社スーパーアルプスの協力により、コピー北野2階テナントスペース(約380㎡)を接種会場として無償提供していただき実施します。

ア 開始日 2月20日(日)
イ 曜日 日～金曜日(土曜日・祝日を除く)
ウ 時間 10時30分～18時30分
オ ワクチンの種類 武田/モデルナ社製
カ 対象者 追加接種対象者(18歳以上)
キ その他 駐車場2時間まで無料

3 小児接種（5歳～11歳）について

小児接種用ワクチンが1月21日に薬事承認され、国から配送計画が示されたことを受け、5歳～11歳の小児の接種について、3月上旬に接種を開始するため、八王子市医師会と協議の上、更に具体的な接種計画を策定いたしました。

2月中に配送される小児用ワクチンの配分量は、接種対象者の2回接種に必要な量の20%程度と少量であったため、本市では、難病・障害児、基礎疾患のあるお子さんを重症化リスクの高い方として、優先して接種を進めることとしました。なお、障害児・難病のお子さんで一般会場では接種が困難な方の接種会場として、島田療育センターはちおうじ（台町）にご協力いただきます。

2月補正予算 415,074千円

(1) 接種券発送及び予約開始スケジュール

(1月17日現在)

配送予定時期	対象者	予約開始予定日	接種開始予定日
2月21日の週	障害児・難病のお子さん (令和3年12月時点)	2月22日	3月1日
2月25日以降の週	基礎疾患のあるお子さん ・オンラインによる事前申告が必要です。 ・接種券にご案内を同封します。	申告に基づき市が 予約手続きします	3月1日
	11歳（上記優先の対象外の方）	2月28日	3月6日
	10歳～5歳 (上記優先の対象外の方)	ワクチン供給が確定次第、順次対象年齢ごとに予約・接種を開始予定します。 (詳細は後日、ホームページやSNSで発信)	

(2) 接種会場

平日：16:00～20:00 コニカミノルタサイエンスドーム（子ども科学館）
南大沢文化会館

日曜日：10:30～18:30 コニカミノルタサイエンスドーム（子ども科学館）
南大沢保健福祉センター

土・日： 9:30～16:30 東京医科大学八王子医療センター
東海大学医学部附属八王子病院
島田療育センターはちおうじ（台町）※3

※3 障害・難病を有するお子さんのみ予約・接種が可能

<問い合わせ>

1・3 健康部新型コロナウイルスワクチン接種調整担当課長 伊東
電話042-649-6089

2 健康部新型コロナウイルスワクチン接種体制確保担当課長 武井
電話042-645-5111

2「妊婦の方」について 医療保険部東浅川健福祉センター館長 及川
電話042-667-1331